

## はやぶさ搭載リチウムイオン電池、電気化学会「論文賞」受賞

The prize of ECSJ was given to the paper concerning the lithium-ion secondary cells used in 'HAYABUSA'

電気化学会誌「電気化学および工業物理化学」2007年7月号に掲載された「はやぶさ」搭載リチウムイオン電池の運用に関する下記の論文が電気化学会「論文賞」を受賞し、3月29日から31日に山梨大学にて開催された第75回電気化学大会において授賞式が行われました。授賞式には独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）の曾根准教授、NEC東芝スペースシステム株式会社（NTS）の吉田氏、及び当社関係者3名が出席し、代表として曾根准教授へ電気化学会の依田誠会長から賞状が授与されました。

「論文賞」は前年の電気化学会誌に掲載された論文の中で特に優れた論文に与えられるもので、受賞者には大学、公的研究機関の研究者と、企業研究者が名を連ねています。

「はやぶさ」はそのチャレンジブルなミッションが国内外で高く評価されており、今回の受賞は搭載されているリチウムイオン電池の運用についても学術的に評価されたものです。

尚、今年の電気化学会誌7月号の「電気化学会各賞表彰」に受賞者のプロフィールが掲載されています。

### 受賞論文：

Title: The Performance of the Lithium-ion Secondary Cells under Micro-Gravity Conditions. -In-Orbit Operation of the Interplanetary Spacecraft 'HAYABUSA'.

### 著者：

曾根理嗣（JAXA）、大登裕樹、久保田昌明、山本真裕、吉田浩之、江黒高志、酒井茂（古河電池）、吉田禎二（NTS）、鵜野将年、廣瀬和之、田島道夫、川口淳一郎（JAXA）

Electrochemistry, pp. 518-522, 75 No. 7, July, 2007.



図1 はやぶさ搭載リチウムイオンセル

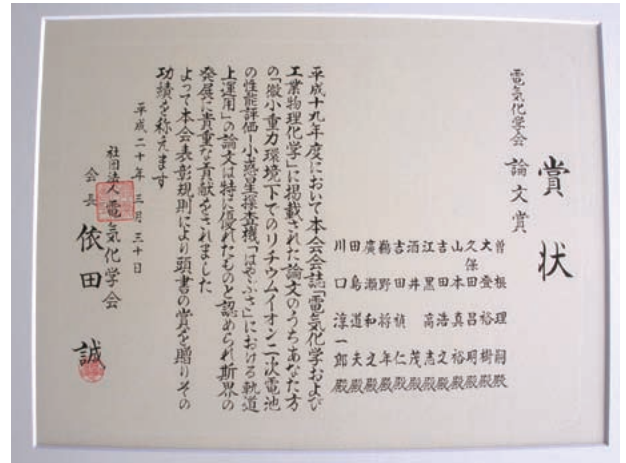


図2 論文賞賞状

（技術開発本部 江黒高志）